

大分市内合同同友会・懇親会開催される

コロナ禍以降、活動を縮小していた各地の同友会活動が動き始めている。
 令和5年2月15日、大分市のオアシスタワーホテル紅梅の間に大分市内の同友会員231名が集った。当日は橋本均大分中央ブロック同友会会長の挨拶で開会し、吉野理事長より取組事例の紹介が行われ、続いて大分市長 佐藤樹一郎氏の「安心元気・未来創造」と題された講演会が開催された。その後、会場を孔雀の間に移し3年ぶりの懇親会が開催され会員間の交流・親睦を深める貴重な時間となっていた。若い世代の会員も増え、世代間交流も盛んにおこなわれていた。



佐伯市、一般社団法人おおいたスペースフューチャーセンター、大分県信用組合 包括連携協定締結・調印式

令和5年2月2日、佐伯市、一般社団法人おおいたスペースフューチャーセンター、当組合の三者は大分空港の宇宙港としての活用を機会として、人工衛星のデータや先端技術を活用し、地域経済の活性化を目指す包括連携協定を結んだ。佐伯市では製造業の振興、農林水産業の衛星データ活用、観光面でのPRなどが計画されている。市町村との宇宙関連の連携協定は国東市、玖珠町に続いて3例目である。



(写真左から) 大分県信用組合 理事長 吉野 一彦 | 佐伯市長 田中 利明 様 | おおいたスペースフューチャーセンター 理事長 森 秀文 様

- 1 特集/TOP INTERVIEW
ひらかわ産婦人科医院
えとう印刷
株式会社 川原建設
- 4 キラリ、新風力 ふわり、爽風力
- 5 けんしん同友会企業紹介
- 7 けんしんTOPICS

継承で拓く未来

TEL 097-5348200

企画・編集 株式会社アドコンセプト

所在地

大分市中島西2丁目4番1号



妊娠・出産はもちろん 女性の生涯を医療で支える

2020年11月。若い世代の流入が加速し、今後も人口増加が見込まれる大分市大在の住宅地に新たな産婦人科医院が誕生した。病院が開業したのは、27年間この地域で親しまれてきた「くまがい産婦人科」のあった場所。診療終了に伴い前院長が継

「目の前にいる女性の話をしっかりと耳を傾け、目を見ずと話す平川先生」



承者を探していたところ、様々な縁が繋がり現院長の平川東望子先生に声が掛かった。

広島大学医学部総合薬学科を卒業した後に医師の道を志し、山口大学医学部医学学科へ入学。そこで現在のご主人と出会い、在学中に結婚と2度の出産を経験したことが産婦人科という領域を目指す転機となった。少しでも不安や緊張がない状態で出産に臨めるよう母になろうとする女性に寄り添い、新しい命を迎え育むために迅速かつ適切な医療を提供する医師の姿を目にした平川先生は、産婦人科が女性にとっていかに大切な診療科であるかを実感したという。自らの産科クリニックの開院時期を模索しながら、大分大学の産婦人科病棟で臨床経験を積み、その一方で子宮内膜症の研究にも力を注いだ。

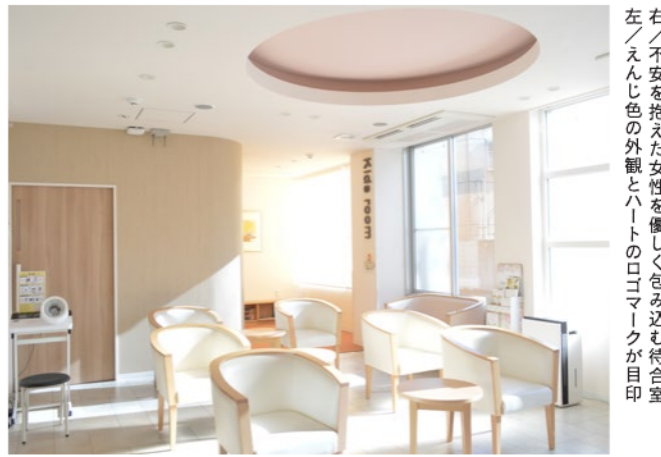
診療所を継承する話が持ち込まれたのは2019年の秋。当時の平川先生はまだ勤

大分東部ブロック同友会

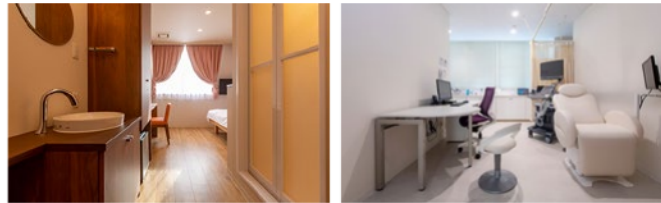
〔産婦人科医院〕
ひらかわ産婦人科医院
院長 平川東望子氏

DATA

〒 大分市横塚2-4-5
☎ 097-592-1000
🕒 9:00~12:00/14:30~18:00
📅 日曜、祝日※火・土曜の午後は休診
📄 40台
🌐 <https://hirakawa-oita.jp>



右／不安を抱えた女性を優しく包み込む待合室
左／えんじ色の外観とハートのロゴマークが目印



右／落ち着いた雰囲気の中、医師としっかり相談ができる
左／入院室は全て個室。洋室と和室の両方が完備されている

務先の大学病院で臨床と研究を続けていたが、2人の子どもの成長したことから独立するタイミングについて考えていた時期でもあった。さらに大在は、かつて仕事と子育てを両立させながら暮らしたことがある地域。「話をいただいたタイミングも良く、土地にも不思議な縁を感じたので決断の時間はかかりませんでした」。さらに「この東部エリアに産婦人科医院をなくしたくない」と開業への思いを語る。妊娠や分娩、月経異常、腫瘍、不妊、更年期障害、排尿障害など、女性にまつわる様々な症状を丁寧に診察し、地域の人々の役に立ちたいという考えから、診療理念には「私たちスタッフは全ての女性の味方です」という言葉を掲げることに決めた。産婦人科医院とは女性が出産をするだけの場所ではなく、妊婦検診や出産後の検診、婦人科機能のチェックなど、女性が生涯を通じて足を運ぶ大切な場所なのだ。

さらに様々な人の想いを乗せ、装いを新たにスタートしたクリニックは、まるで教会を思わせるシンメトリーなデザインが特徴的。窓から柔らかな光が差し込む待合室は優しい印象で、診察室は効率的な動線やプライバシーがしっかりと確保されている。

今後の課題は、女性の生涯をサポートするクリニックとして認知度を高めていくこと。ご主人も医師であり、息子さんも産婦人科医を目指して医学部に進学することから、将来的にはより広く地域医療に貢献をしていきたいと話す。

この春、次の世代に事業を継承 さらなる地域貢献を誓う

来たる令和6年に20周年の節目を迎える印刷会社。代表の衛藤勝志さんが腕一本で開業し、地元に根ざしたビジネスを展開している。当初は印刷を外注する商社的な取引で売上を伸ばし、需要の増加にともなってオフセット印刷機を購入。チラシやポスター、パンフレット、冊子などさまざまな注文に応えてきた。

スタートこそ順調だったが、数年で「危機感を覚えた」と振り返る衛藤氏。インターネットの急速な普及によって紙媒体に陰が差し、急激に発注数が減少してきたのだ。さらに、世の中にインターネットで印刷注文ができるサービスが登場すると、小ロットで短納期、低コストで印刷してほしいという今までにないニーズも増えてきた。こうした変化があっても「紙媒体が消えることはない」と考えた衛藤氏は、少数の印刷に向いているオンデマンド印刷機を導入。時代の動きに呼应し、今日も大小の要望に応え続けている。

「小さなイベントだが、チラシをつくりたい」「立派な名刺をつくりたい」「年賀状をきれいに印刷してほしい」など、日々多くの相談事が舞い込む。近年、イベントの告知はSNSが主流になっているし、名刺や年賀状は自分で簡単につくれるようになったが、それでも印刷会社のクオリティを求め人は多い。「小さな印刷会社だからこそ丁寧にお客様と向き合える」と、細かなデザインの希望にも耳を傾けるのが信条だ。また、新たなビジネスのチャンネルを増やそうと、今後UVプリンターを導入し、キー



左／オンデマンド印刷機の導入で、小さなニーズにも応えられるようになった
右／学校など、地域の記録を残す冊子も数多く手がけている

デジタル化の時代にも地域密着で、事業と、そして紙の文化も守ってきた衛藤氏

竹田同友会

〔印刷業〕

えとう印刷

代表 衛藤 勝志氏

DATA

〒 竹田市炭竈371 ☎ 0974-64-5815
🕒 8:30~17:00 📅 土・日曜、祝日
📄 あり

ホルダーやボールペン、ゴルフボールなどノベルティの印刷にも対応できるようにしていく予定。

こうして事業を守ってきた衛藤氏は、この春、長女のなつ美さんに経営のバトンを渡す予定。「娘が子どもの頃から、跡を継いでくれるように刷り込みをしてきたんです(笑)。とはいえ、それが現実になると奇跡のように思えて感慨深いです」と嬉しさをにじませる衛藤氏。なつ美さんは、10年ほど前から一緒に働き始め、事業を支えている。「いちど外の世界を経験し、地元の良さや親の苦勞に気づけた」というなつ美さんのあとを追って、次女のあゆ美さんも稼業に仲間入りしている。

事業継承の後、今度は衛藤氏がなつ美さんを支える番。しばらくは経営を伴走しながら、大切にしてきたことを受け継いでいく。忙しかった20年、これからは「畑仕事やゴルフなど、仕事以外のことにも挑戦できるかな」と笑顔を浮かべながら、次の世代に期待するのは、年商を上げて人材



の雇用ができる企業になり、竹田市に貢献すること。「これまで事業を続けてこられたのは、地元の方々の信用あってこそ。娘たちに将来を託した後もその信用に応え続けてほしい、その信用を社会に還元できる会社でありたい」と、地域の未来も見据えている。



開業まもなくから衛藤氏を手伝ってきた妻の聖子さんも一緒に、家族で経営

デザインから印刷まで手がけ大活躍の長女・なつ美さん(奥)と次女・あゆ美さん(手前)



中津市、日田市を中心に県内全域で数々の河川工事、土木工事を行っている



優れた技術と環境を創造し 土木の未来を次世代へ繋ぐ

土木工事から電気、建築工事までをさまざまな手がける総合建設会社として、昭和39年に創立。50年以上たった現在も「お客様にとって必要な存在になる」という姿勢は変わらず、県内各地の河川道路や法面、砂防などの公共工事を中心に行う。長年の実績と技術力は「優良工事業者」として国土交通省や県から受けた数々の受賞歴に裏打ちされており、「確かな仕事」で快適な暮らしのインフラを支えている。

なかでも得意としているのが河川工事。そのクオリティを上げていくと開発を行ったのが、独自の工法「岩工房」だ。社員の提案がきっかけとなり生まれた商品である。通常、護岸工事ではコンクリートや岩に似せたコンクリートの造形物を使うケースが多いが、この工法では岩の凹凸などを細部に至るまで再現し、まるで自然にある本物の岩と変わらぬ見た目に仕上げることができる。周囲の景観美と川の流れを損なわない機能を兼ね備えており、特許も取得済み。より質の高い河川工事を実現できると注目を集めている。

また高い技術力で多くの現場を手がけた経験は、平成29年の「九州北部豪雨」で被害を受けた日田市の災害や、平成30



創業1964年。山国川沿いに社屋を構え、長年地域や県内の土木・河川工事を担っている

年の「耶馬溪金吉地区」の山地崩壊事故の復旧工事にも貢献した。「二次災害の危険も伴う命がけの現場でした。災害や事故の現場に携わった経験をいかし、単に整備し維持する土木工事ではなく、災害に備えるための基盤の強さをもつ工事にも取り組んでいかねばならない」と川原社長は決意を新たにしている。

また、より質の高い仕事を行うために力を入れていることが社員教育だ。社内では「スキルマップ」を作成し、社員一人ひとりと共有。個々の目標や目的とすり合わせながら、仕事の達成感や成長を実感できる仕組みづくりを構築している。「若手の社員も含め、次の時代を担う人たちに伝えたいのは自ら考え、実践するという。例えば、車の助手席に乗っているだけでは、なかなか道を覚えられないのと同じ。運転席でどんどん運転して自分で道を覚え、切り開いてほしい。もちろん、道に迷ったときはアドバイスしたい」と、熱い思いを語る。

中津・下毛同友会

[総合建設業]

株式会社 川原建設

代表取締役社長 川原 修幸氏

DATA

〒 中津市耶馬溪町大字榎山路38
☎ 0979-56-2004
📅 土、日曜
🕒 8:00~17:00 📍あり
<https://www.kawa-ken.com/>



上／先輩が後輩を自然とサポートできる環境。社員一人ひとりが目標や課題を意識することが人材育成の力に。下／女性技術者も男性と同じように活躍。人材不足が課題の土木業界で、男女問わず働きやすい環境

今後は専務の康幹氏へバトンを渡し、新たな人材発掘を中心に少しずつ経営もシフトチェンジしていきたいという。「土木の世界にもICTやDXなどが急速に浸透していくなか、新しい時代にも柔軟に対応しつつ、人の役に立てる人材を育てたい」と、自社と土木業界への未来を見据えている。



「量ではなく質からアプローチすること大切にする。おのずと支持される企業になる」と川原社長



T-PLAN株式会社
代表取締役社長 寺下 満さん



小型電動自動車「グリス」は高齢者同士の交流をもたらしている

DATA

[技術支援・開発設計・コンサル業]

T-PLAN株式会社

〒 中津市牛神404-11 ☎0979-53-8880

🕒 9:00~18:00

📅 土・日曜、祝日 📍あり

<http://www.tplan0301.com/index.html>

人と環境に役立つ技術で「脱炭素社会」を目指す

再生可能エネルギービジネスが加速する昨今だが、人々が関心を寄せる10年以上前から脱炭素社会に着目した事業を展開している。寺下満社長は大手電機・自動車メーカーでエンジニアとして勤務した後、2006年に28歳という若さで独立。自身の経験と知識をいかしたベンチャーを立ち上げ、自動車業界への技術支援を行う事業からスタートした。さらに「必ず電気自動車の時代が来る」と、太陽光を活用することでCO2を排出しない電気自動車用充電器を開発。今も事業の柱のひとつとしている。

さらにもう1つ力を注いでいるのが、会社とは別に設立した「一般社団法人姫島エコツーリズム」の事業だ。寺下社長の故郷である姫島村は、タクシー・バスも無く、移動手段に乏しい為、地域交通の課題を抱えていた。そこで「生まれ育った場所に貢献したい」と、小型電気自動車向けの太陽光発電や、蓄電が行えるシステム「青空コンセント」

を導入。降り注ぐ太陽エネルギーを活用した小型電動自動車を普及させ、「エネルギーの地産地消」を可能にした。この取り組みは島の高齢者の外出支援に役立っているほか、姫島の観光周遊ルートをめぐる旅行者の足としても利用され、離島の課題解決や観光の活性化に大きく貢献している。

また、この事例は「ひめしまモデル」としてメディアでも紹介されると、離島が抱える課題を解消できると注目され、現在、県内外の市町村から実証実験の依頼が寄せられている。「私は中学生の頃から、30代で独立、40代で自分が見つけた技術で社会に貢献し、50代でそれを海外にも普及させるというビジョンを描いていました」という寺下社長は、今後の展望として「世界中の離島や発展途上国にも姫島の事例を普及させていきたい」とイケイキとした表情で語る。現在、JICAからの受託事業として「パラオ共和国」でも実証実験を行うなど、海外への大きな一歩を踏み出し、日々チャレンジを続けている。

キラリ新風力 New Wind & Fresh Power ふわり爽風力

国東半島の大地に根差した 手仕事で世界に羽ばたく

ニューヨークやシカゴ、ベルリンをはじめとする海外でも精力的に個展を行い、数多くの賞に輝いてきた木下栄司さんが豊後高田市に窯を構えている。工房の場所は香々地の奥深い山中にありながらも、木下さんは故・中村勘三郎氏が長年の思いを形にした歌舞伎公演「平成中村座」にも長年に渡って同行。数名の職人によって構成される会場入り口前の特設店舗「七軒長屋」のひとりとして、入念に作り込まれた世界観の一翼を担ってきた。

そんな輝かしい経歴を持つ木下さんの工房と同じ敷地に建つギャラリーには、鮮やかな釉薬が施された大皿や、原土の表情が独特の個性を放つ花器などが並び、それらの多くが国東半島の素材から生まれている。築窯は1989年。各地の窯元で修業を重ねた後、寺社仏閣を多く残す国東半島の歴史や、海山が美しい自然に惹かれて福岡

県から移住を決めたという。主に釉薬の材料として使用しているのは、地元で採れた櫟や松の木、稲刈り後の藁の灰など。中でも遠浅で広大な干潟を有し、干潮時には取り残された海水によって独特の縞模様が創り出される真玉海岸からインスピレーションを受けたシリーズは、木下さんの代表作になっている。

陶芸家としての人生を歩む中で、木下さんが欠かさずに現在まで続けてきたことがひとつある。それは個展を開いた場所には必ず足を運び、作り手として会場に立つこと。「作者として顔を出すことが、作品の宣伝に繋がると思っています。日本には素晴らしい工芸品が多くあるので、少しでもその手助けになればと思っています」。

コロナ禍で延期や中止を余儀なくされた企画やイベントも多くあるが、最近になってようやく大きなプロジェクトが動き始めたと話す木下さん。今後も香々地からどのような作品が生まれていくのか、自然豊かなまちから届くニュースを楽しみにしておきたい。



とよのくに木下窯

代表 木下 栄司さん



市内に3カ所ある保育園で親子対象の陶芸教室を行うなど、地域との関わりも大切にしている

DATA

[陶器製造]

とよのくに木下窯

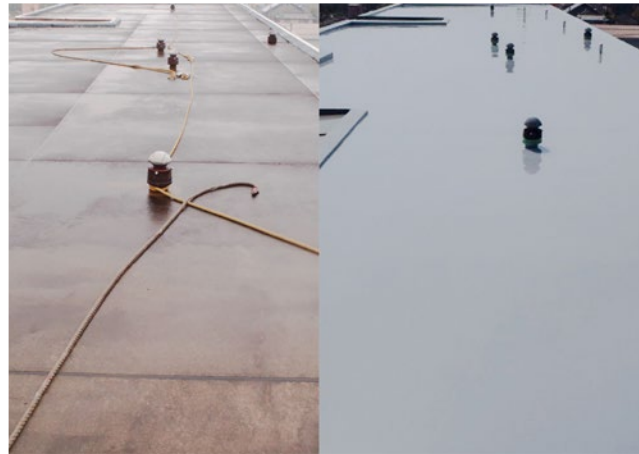
〒 豊後高田市堅来3048-4

☎ 0978-54-2836

📅 要問合せ

📍あり

防水工事業 **有限会社 エムクラフト**



防水工事の前(左)と後(右)。美しい仕上がりに定評がある

頼ってくれる人々の力になりたい

御手洗社長が平成5年に個人事業で創業してから、この2月に晴れて30周年を迎えた。建物の防水工事を主に雨が漏れてはいけないありとあらゆる現場で丁寧な施工を心がけている。

2人で始めた会社は次第に仲間が増え、技術が積み上がり、平成17年に念願の法人化。適材適所の素材選びが求められる防水工事には資格が付きものであり、御手洗社長自ら9つの防水資格、施工管理技士を取得して会社をリードしてきた。「私に出来る事は皆にも出来るとし、社員を励ましたかった」という言葉通り、人材教育にも力を入れている。「仕事も遊びも精一杯」がモットー。メリハリのある社風が人と事業を育ててきた結果、近年はM&Aにも挑戦し、土木工事の会社と美容室の経営も担っている。何事も「頼られたら力になりたい」という思いが成長の原動力。今後の飛躍がまた楽しみな企業である。



〒大分市三川新町2-1-55
☎097-551-8557
営業9:00~17:00
Pあり
<https://mcraft201.com>

小売業・飲食業 **株式会社 花かざり**



店舗は「グランツたけた」の近く。2023年にて花公園での営業は終了予定

贈る相手を想像したギフトを届けたい

ドライフラワーや観葉植物を販売するショップ「laviflre」を運営している。オーナーの安倍美緒さんは、造園や森林緑化などの知識を幅広く学び、長年「くじゅう花公園」に勤めていた。同園内で2017年、独立してドライフラワーの店を構えることに。冬季休園の間、城下町の空き家を活用したチャレンジショップに応募したところ「市街地でも店を開きたい」という思いが強くなり、2018年、現地に新店舗をオープンした。店名の由来はla vie en fleurs(花のある暮らし)。オーダーギフトの注文が多く、贈る相手を想像しながらひとりひとりの思いに応えている。店には「竹田バーガー」が自慢のカフェや雑貨コーナーも併設。竹姫マルシェの開催など地域活動にも積極的で、竹田市を挙げたギネスへの挑戦も控えているとか。また最近、ギフトボックスにメッセージを刻印できる新しいサービスを開始。春の散策の途中に、ぜひお立ち寄り。



〒竹田市拜田原236-4
☎080-5218-7490
営業11:00~18:00
※月曜
Pあり
<https://laviflre.com>

障がい福祉サービス **株式会社 四つ葉**



入居者と職員という垣根を超えた交流が育まれる、アットホームな雰囲気グループホーム

誰もが共に暮らせる共生社会の実現に向けて

精神障がいや知的障がいを抱える人々の自立を支援する共同生活住居「グループホーム クローバー」を運営する。入居者の意思と人格を尊重する施設では、一人ひとりが可能な限り自らの生活に責任を持つことがモットー。地域に溶け込むアパート型のホームでは、個々のプライバシーを確保しながらも、食事の際は皆で食堂に集まり、さらに同部屋の入居者と浴室などを共有することで他人との関わりを学んでいく。経営理念は、「入居者が日々活き活きと役割を持ち、自立した温もりのある生活を送ること」。そのため食事以外の支援は個々の特性や意向を配慮し、他の機関と連携を図りながら計画するという。毎日の健康を手作りの味で支え、ときに家族や友人のように手を取り合い、利用者の地域移行を目指す施設は将来、新たなグループホーム立ち上げへの挑戦も考えている。



〒大分市花津留1-5-8 102
☎097-574-8833
営業9:00~17:00
※土・日曜、祝日
Pあり
<https://cloveroita.com>

建設業 **有限会社 田中住宅**



古民家のリフォームも得意。昭和53年の設立から「安心して住める家づくり」を貫く真摯な仕事で評価されている

職人技が冴える「在来工法」で住む人想いの家づくり

田中俊之社長は、創業者で大工でもあった父・年見さんからの「一度はよその飯を食べて経験してこい」という言葉を受け、同業他社で経験を積んだのち、令和元年に家業を継承。県北を中心に一般住宅や店舗の改装、リフォームの設計から施工までを手がけている。近年、家づくりは機密性や工期の効率化を重視したツーバイフォーやパネル工法などが増えていく中、田中住宅ではあえて「在来工法」にこだわり続ける。「在来工法は、木材一本一本に仕口(しぐち)を作り組み合わせる昔ながらの工法。手間暇や技術が必要だが、日本の風土や気候にあった家づくりです。住む人が笑顔で過ごすことができ、人生の歴史を重ねられる家づくりをしたい」と田中社長。職人の腕が問われる丁寧な仕事を後世に伝えるとともに、若い担い手を発掘するのも大切な仕事と、大工教室開催の夢も描いている。



〒中津市大字大新田字
大道より北623番地の2
☎0979-24-5091
営業8:00~18:00
※土曜・日曜
Pあり

建設業 (コンクリート工事業) **株式会社 九大技建**



生コンプラントで製造し練ったものを迅速に現場へと運ぶ。「若い担い手の育成にも力を注いでいきたい」

安全・快適な職場環境は誠実な仕事のための第一歩

生コンクリートの製造と販売をはじめ、ポンプ車で生コンを現場の型枠に送り込む圧送業も手がける企業。治山工事や河川工事、ビル建設など土木・建設業界のインフラを支えている。昭和48年に浅田潤社長の義父が創立し、平成23年に事業を継承した。浅田社長の前職はホテルマンで、生コン業界は全くの未経験。右も左も分からない中、仕事を覚え経営も担うことは「平坦な道りではなかった」と当時を振り返る。大切にしていることは「一緒に奮闘してくれる社員に感謝すること。そして安全に楽しく仕事ができる環境をつくること」。その取り組みの1つとして社内では「安全推進委員会」「6S委員会」のチームを発足。社員が中心となって安全で快適に仕事を行うための議論を重ねている。また生コン事業とは別の新規事業も構想中とのことで、今後にも期待が膨らむ。



〒由布市庄内町柿原236番地
☎097-582-3588
営業8:00~17:00
※日曜、祝日
Pあり
<https://www.kyudai-giken.jp>

化粧品販売 **加口化粧品店**



地域の人々にとって憩いの場でもあり、加口さん夫婦との会話を楽しみに来店する常連客も多い

お肌と心の満足を届ける地域密着の化粧品店

昭和の町から桂川を挟んだ対岸に立地する商店街「玉津プラチナ通り」で、地域の人々の美容を支え続ける化粧品店。チェーンストアを通じて全国に地域密着型の販売網を築き成長を続けた資生堂の専門店として月日を重ね、今年で創業75周年を迎えた。半世紀を超える歴史の中で店主の加口正徳さんが大切にしてきたのは、先代から引き継いだ「ひとりひとりのお客様を大切に」という理念。さらに刻々と変わり続ける地域ニーズに応えるため、時代に合わせた洋服や生活雑貨なども化粧品と一緒に取り揃えてきた。今後は書写書道教室を主宰している娘さんへの事業継承が行われることが決定。娘さんは、金曜日に行うエステも担当している。現在はまだ継承の準備段階で詳細な時期は未定だが、タイミングが整い次第、新たな風が吹くことが予想される。



〒豊後高田市玉津281-1
☎0978-22-2065
営業9:30~18:00
※エステ~17:00
(金曜のみ)
※日曜、祝日
Pあり